

# Apple Road no. 49

発行：1998年5月25日  
 責任者：尾田 敦  
 事務局：弘前大学医療技術短期大学部  
 理学療法学科研究室内  
 TEL・FAX 0172 (39) 5981

## 平成9年度定期総会報告書

平成10年3月16日、弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科研究室にて、平成9年度定期総会が開催されましたので、議案ならびに議事録について、報告致します。

### 【第I号議案 平成9年度事業報告】

1. 会員数：280名  
平成9年度新入会員22名（15期生）へのオリエンテーション
2. NEWS発行（Apple Road）：No. 47, 48
3. 慶弔電報：9件
4. 会費未納分の徴収
5. Tea Partyへの出席
6. 弘前大学創立50周年記念事業への参加

※補足：弘前大学50周年事業に対する同窓会の募金状況は、12月末現在で51,254,000円（寄付率6.17%、短大は2.11%）で、寄付率が低いことから期限が1年間延長された。

7. 学会時の同窓会懇親会

### 【第II号議案 平成9年度決算報告及び会計監査報告】

収入の部	H9決算案	H9決算額	備 考
会 新入会費分	69,000	63,000	卒業生22名中21名分
費 未収会費分	14,000	8,000	1名分(残り1名分6,000円)
短大20周年立替分	27,700	22,600	6名分(残り2名分5,100円)
伊藤日出男先生	0	17,737	3月7日 9,480円
印税寄付			7月8日 8,257円
雑収入	0	23,013	通帳解約利息70円 学会懇親会22,943円
前年度繰越金	395,771	395,771	
計	506,471	530,121	

支出の部	H9予算案	H9決算額	備 考
事務費	10,000	1,350	目録, 封筒
通信費	70,000	56,580	NEWS発行, 総会案内葉書
広報部活動費	12,000	10,913	
慶弔費	5,000	13,039	慶弔電報9件
	50,000	50,000	
予備費	50,000	0	
計	202,000	131,882	
収支合計		398,239	→次年度へ繰り越し

※会計未納は、残り2名となっている。医短20周年事業の立替分は実質残り2名となった。銀行の口座を解約し、郵便局に口座を設けた。これは事務作業を軽減する（郵便局と銀行の2カ所に行く必要がない）目的と郵便局の通帳は全国手数料なしに利用でき、現金の持ち歩きを減らすことができるためである。支出の部では、印刷用紙を購入しなかった分だけ事務費が少なかった。慶弔費が昨年より多かった。学会懇親会では、参加者の会費のみで賄われたため、支出はなく残金が寄付されてむしろ収入増となった。

会計監査では問題はなかった。

### 【第III号議案 平成10年度事業計画案】

1. NEWS発行：No. 49, 50, 51
2. 会費未納分の徴収と20年史およびテレカ立替分の徴収
3. 同窓会オリエンテーションおよび入会手続き  
：副会長（対馬）が行った。
4. Tea Partyへの出席：平成10年3月25日、理事（笹館）が出席した。
5. 慶弔電報の発信
6. 学会時の同窓会懇親会

※同窓会人数が300人に達し、各学年ごとの懇親会が多くなる傾向にあること、当日の出席人数の把握が難しいこと、会場探しが難しく担当が大変なこと、以上の理由から、学会時の同窓会懇親会は、同窓会としての企画は行わないこととなった。

7. 会員名簿発行（第8版）

※平成10年10月に発行予定であるが、会員の住所などの把握は各期ごとに責任者を決め、その責任者に確認をお願いすることとなった。各期の責任者は下記の同窓生に依頼することとする。

- 第1期 石川 玲（弘前大学医療技術短期大学部）
- 第2期 金沢 善智（ " ）
- 第3期 畠山 優（大館市立病院）
- 第4期 今 千佳子（青森市民病院）
- 第5期 河原優美子（山郷館）
- 第6期 勘林 秀行（弘前大学医療技術短期大学部）
- 第7期 伊藤（上村）佐知子（秋田大学医療技術短期大学部）
- 第8期 斉藤千恵美（弘前記念病院）
- 第9期 対馬 栄輝（弘前大学医療技術短期大学部）
- 第10期 長谷川 至（ " ）
- 第11期 三浦 雅史（青森県立保健医療大学設置準備室）
- 第12期 笹館美佳子（青森県立あすなろ学園）
- 第13期 花田 直美（弘前記念病院）
- 第14期 佐藤 誠剛（川嶋病院）
- 第15期 小野寺直子（弘前中央病院）
- 第16期 黒石 容子（津軽保健生協健生病院）

### 同窓生へのお願い

同窓会の郵送物がお手許に届かず、送り返されてくるものがあります。勤務先、自宅住所等が変わられた同窓生の方は、各期の責任者を通じて、変更届を出して下さいませう、また各期の責任者として名前を挙げられた方、ご面倒でも同期生の住所を確認の上、変更があった場合は、同窓会事務局対馬まで、FAXにて（FAXno.0172-39-5981）ご連絡下さいませう、よろしくお願い致します。会員名簿には、できるだけ確実な連絡先を掲載したいと考えておりますゆえ、締め切りは5月末までとさせていただきます。ご面倒でもご協力頂きますよう、お願い致します。

会長 尾田 敦

収入の部	H9決算額	10予算案	備 考
会費 新入会費分	63,000	60,000	卒業生20名分
未収会費分	8,000	9,000	2名分
医短20周年立替分	22,600	5,100	残り2名分
伊藤日出男先生 印税寄付	17,737	0	
雑収入	23,013	0	
前年度繰越金	395,771	398,239	
計	530,121	472,339	

支出の部	H9決算額	10予算案	備 考
事務費	1,350	15,000	印刷紙, 封筒
通信費	56,580	90,000	News発行3回, 名簿発行
広報部活動費	10,913	12,000	弁当代
慶弔費	13,039	10,000	
伊藤教授退官記念品	50,000	0	
予備費	0	50,000	
計	131,882	177,000	
収 支 合 計		295,339	→次年度繰越金

【第V号議案 同窓会の名称変更並びに会則の変更について】

会員からの同窓会の新名称の提案や、意見はその後ないことから、現状のままでも特に不便もないと判断されるので名称変更する理由は今のところ見つからない。また、短大が4年生に昇格し、保健学科になったとき、「弘前大学医療技術短期大学部」の名称を残す意味でも、当面は名称の変更はしないことが確認された。

【第VI号議案 短大同窓会組織の統合について】

平成10年2月27日、「弘前大学同窓会組織に関する懇談会」が開催された。この懇談会は、弘前大学創立50周年を契機に本学の活性化推進のため大学全体の同窓会組織の発足について検討するためのものである。学長より、全学同窓会を設立し、各学部の同窓会をとりまとめて一本化したいので意見を伺いたい旨の発言があった。種々意見交換の後、各同窓会などで意見をとりまとめ、次回懇談会までに持ち寄ってほしいこと、併行して全学同窓会（任意団体）の発足案づくりに着手するため、教育学部同窓会工藤睦男副会長に事務担当（事務局長）を依頼することについて諮られ、了承された。なお、次回懇談会では、全学同窓会発足案について検討することとし、平成10年6月5日（金）を開催予定日とした。

以上の事項は、平成10年3月11日（水）の短大定例教授会で菊池部長より報告され、各学科同窓会でも話し合いを持って、意見をまとめてほしいとの要望があったことが会長より説明された。当理学療法学科同窓会としての対応について討議した結果、以下の点が指摘され、意見を求められた際に回答できるようにしておくこととなった。

- 1) 全学的に同窓会を統合する方向にあるならば、当理学療法学科同窓会としても足並みをそろえることは拒まない。
- 2) 記念事業等に関わる募金や依頼事項が発生した場合には、当理学療法学科としては予算執行上不可能である。従って以下の点について要望する。
  - ①その場合は、全学同窓会事務局から各会員へ直接連絡及び依頼を行い、とりまとめなどについても全学同窓会事務局で行ってほしい。
  - ②会員名簿については、提出が求められた際には提出できる体制はとっているため、使用目的を明示し、管理を厳重にしてほしい。

定期総会議事録（第VI号議案）にあるように、先日、全学同窓会設立のための懇談会が開催され、全学全体の同窓会組織を発足させる方向で準備が進められております。この懇談会には当理学療法学科同窓会は出席しておらず、看護学科会長佐藤アエ氏が短大の代表として出席されました。各同窓会長から各同窓会の活動状況の説明を求められ、短大代表の佐藤会長より理学療法学科同窓会についても紹介が行われたようです。後日、佐藤会長より、懇談会内容の要旨が配布されましたので、懇談会で出された意見についてご紹介しておきます。

- ①医療技術短期大学部では、卒業後の職種集団がはっきり分かれていることから、それぞれ研修会を行うなど別々に活動しており、一本化は難しい状況である。
  - ②これまでの（過去の）学部改組に伴い、既存の学部などの同窓会（文理学部等）については、それぞれの代表を持って構成することも考えられる。
  - ③組織・運営などについては今後検討し、50周年記念式典の一連行事として全学同窓会を発足してはどうか。
  - ④とりあえず、事務局を設け、会則（規約）をつくることとなる。その後各同窓会など代表（会長）と各学部代表（学部長など）により構成する準備委員会を組織してはどうか。
  - ⑤全学同窓会事務局（学生会館に事務局を置くことになる）では名簿の発行は無理だろうが、各同窓会など名簿を備えるなどして同窓会間の連絡・調整にあたり、また、同窓生各位への窓口業務を行うこととなるのではないかと。
  - ⑥既存の各学部同窓会などを一本化するのではなく、緩い連合体といった組織が望ましい。
  - ⑦記念事業実施・挙行には、大学全体としての同窓会組織が必要と考える。
- 以上です。我が同窓会としては、総会議事録で討議されたような意見と要望を申し述べ、できるだけ会員の皆様にはご迷惑をおかけすることのないよう、対応していきたいと考えておりますのでご了承下さい。

埼玉発 ~ 理学療法士募集

産休、育休代替要員として平成10年7月から平成11年8月までの約1年間勤務できる方を募集します。

募集人員：1名（小児の臨床経験をお持ちの方）

待遇：地方公務員規定による。

年齢、臨床経験を考慮し、優遇。

勤務時間：午前8時30分～午後5時15分。

休日：完全週休2日制。

夏期、冬期特別休暇あり。

施設概要：第3次医療の小児専門病院（300床）

平成10年4月より保健発達部門が開設。

応募方法：電話連絡の上履歴書を郵送して下さい。

埼玉県立小児医療センター 担当：PT田中

〒339-8551 埼玉県岩槻市馬込2100番

TEL 048-758-1811

FAX 048-758-1818



編集後記

★津軽では、桜の花と林檎の花と山菜と一気に春が駆け足で通り過ぎていくようです。田植えが始まりました

が、寒かったり暑かったり自然も人間も大忙しです。皆様、5月病などかかっていますか。★事務局連絡ばかりで味気ない記事になってしまいました。住所変更と合わせて皆さんの近況をお知らせできれば幸いです（河）。



# Apple Road no 50

発行：1999年7月17日  
 責任者：対馬 栄輝  
 事務局：弘前大学医療技術短期大学部  
 理学療法学科研究室  
 TEL・FAX 0172 (39) 5981

## 平成10年度定期総会議事録

平成11年3月29日、弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科研究室にて、平成10年度定期総会が開催されましたので、議案ならびに議事録について、報告致します。

### 【第Ⅰ号議案 平成10年度事業報告】

1. 会員数：301名  
 平成10年度新入会員20名（16期生）への入会オリエンテーション
2. NEWS発行（Apple Road）：No. 49, お知らせ
3. 会員名簿（第8版）
4. 慶弔電報：7件
4. 会費未納分の徴収
5. Tea Partyへの出席：12期生笹館氏

### 【第Ⅲ号議案 平成11年度事業計画案】

1. NEWS発行：No. 50, 51, 52
2. 新入会員会費徴収及び会費未納分と20年史・テレカ立替未納分の徴収
3. 新入会員の名簿作成と会員の異動に伴う名簿変更及び管理
4. Tea Partyへの出席：平成11年3月22日、14期生山田氏が出席。
5. 慶弔電報の発信

### 【第Ⅱ号議案 平成10年度決算報告ならびに会計監査報告】

収入の部	10決算案	10決算額	備考
会 新入会員分	60,000	60,000	卒業生20名全員分
費 未収会費分	12,000	0	3名分（6,000円1名, 3,000円2名）
短大20周年立替分	5,100	1,600	1名分（残り1名分3,500円）
伊藤日出男先生 印税寄付	0	32,875	3/9 12,385円 7/4 7,034円 11/9 13,456円
雑収入	0	745	通帳利息745円
前年度繰越金	398,239	398,239	印税分
計	475,339	493,459	

収入の部	10決算額	11予算案	備考
会 新入会員分	60,000	60,000	卒業生20名分
費 未収会費分	12,000	12,000	3名分（2名分は徴収済 残り1名分6,000円）
医短20周年立替分	1,600	3,500	残り1名分
伊藤日出男先生 印税寄付	32,875	0	
雑収入	745	0	
前年度繰越金	398,239	382,630	
計	493,459	458,130	

支出の部	10予算案	10決算額	備考
事務費	15,000	18,530	スクラップブック, 封筒, 会員名簿表紙代
通信費	90,000	70,360	会員名簿, NEWS, 督促状
広報部活動費	12,000	11,955	弁当代及びタクシー代
慶弔費	10,000	9,984	7件（祝電5件, 弔電2件）
予備費	50,000	0	
計	177,000	110,829	
収支合計		382,630	→次年度繰越

支出の部	10決算額	11予算案	備考
事務費	18,530	12,000	印刷紙, 封筒, タグシール
通信費	70,360	90,000	News発行3回+葉書分
広報部活動費	11,955	12,000	弁当代
慶弔費	9,984	12,000	
予備費	0	20,000	
計	110,829	146,000	
収支合計		312,130	→次年度繰越金

会計監査では問題はなかった。

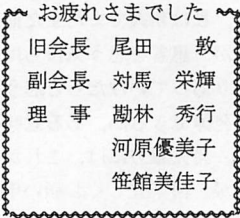


お疲れ様でした対馬先生。オーストラリア、メルボルン滞在記

弘大医療短大PT学科教授対馬先生が、平成10年6月1日～平成11年3月31日までの10ヶ月間、オーストラリア・メルボルンで留学生活をおくられました。休む間もなく、4月1日から、教職に戻っておられる先生から、“メルボルンでの留学を終えて”というタイトルで、滞在記を寄せていただきました。異国の地での疲れも見せず、400字詰原稿用紙28枚にも及ぶ大作であるため、Newsにおさまりきらず、抜粋しようにも興味深いお話ばかりで、今回のNewsで、小冊子として、皆さんのお手許にお届けすることに致しました。次号を乞うご期待！！

### 【第Ⅴ号議案 新理事選出】

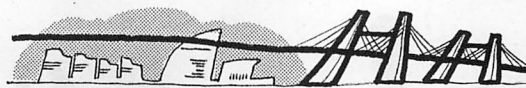
- 新会長 対馬 栄輝  
 新副会長 長谷川 至  
 新理事 河原優美子（会計・事務局）  
 笹館美佳子（広報）  
 山田 克彦（ ）  
 会計監査 金沢 善智  
 佐藤比呂子



### 弘前大学同窓会設立総会開催される

ニュースNo. 49に掲載しておりますが、平成11年6月4日 弘前大学同窓会設立総会が開催されました。

同総会において、会則案が提示され原案通り承認されました。短大同窓会の代表は看護学科 会長佐藤アエ氏が出席。会則に従って、会長・副会長等の選出が行われました。全学同窓会運営のために会費を徴収することになり、その方法については、現在検討中ですが、例えば、人数割りで1人当たり500円程度の計算で支払う等の案が出ています。詳細が分かり次第追って報告致します。



去る5月23日から28日にかけての6日間、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜において世界理学療法士連盟（WCPT）と国内（第34回）の合同学会が開催されました。23日の開会式では（私自身は都合で見ることが出来ませんでした）天皇陛下がお言葉を述べられ、今回の学会の規模の大きさと国際性、そして理学療法の将来への期待が強調されたように思います。

WCPTでは「Bridging Cultures」をテーマとしてLectureやSeminar、合わせて34題、一般演題は1220題にものぼりました。Lectureなどは一般概論的なものが多かったように思います。ただ、TVでもおなじみの瀬戸内寂聴氏の講話も設定されているというイキナ計りもありました。一方の国内学会は、例年であれば600題余の演題を252題と規模を縮小し、かつすべてポスターという形式をとっていました。ここでも外国人への配慮からか英文で書かれたポスターがかなりの数ありました。

私も海外・国内の演題について幾つか興味のあるものを聴いてきました。非常に得たものが多かったのですが、紙面の都合でその全てを紹介することは出来ませんので、ここではタイトル通り、率直な印象を述べたいと思います。

まず、正確な数は分かりませんが、どちらかと言うと海外からの参加者の方が多かったのではないのでしょうか。大ホールでLectureを聴いている時など私の回りは全て外国人で、一瞬自分が海外に来ているような錯覚にとらわれたりしました。ただ、他の会場でもそうでしたが、発表を私服で、しかもガムを噛みながら聴いている外国人も多く居り、いかに文化（民族性）が違えど、発表者に対する態度としては感心できません。そして、これは私自身のことですが、語学力が乏しいため、英語によるSeminarや討議を十分理解して聴いていたとは言えませんでした。スライド中の単語を拾い読みしたり、英文抄録からあらすじを読み取るのに精一杯だったように思います。幸い、去年から短大の勉強会に参加させていただいているおかげで、口述はともかく、あらすじにせよ英文を読めるようになっていたので助かりました。

講演や発表の中には実のある内容のものが数多くあったのですが、言葉の壁によってそれらを十分吸収出来なかったことが今となっては悔やまれます。その点で、私にとっては多くの反省と、これからの課題を与えられた学会参加でした。

## 第17期生 佐井川匠秀

佐井川匠秀（医療法人 芙蓉会 村上病院）

氏名：サイカワ ショウシュウ

生年月日：昭和49年 4月 2日（25歳）

星座：牡羊座

血液型：A型（Rh+）

出身地：青森県北津軽郡中里町

サイズ：身長188cm 体重82Kg



皆様初めまして佐井川です。この春医短を卒業し、晴れて国家試験に合格し（本人もびっくり!？）、新人ではただ一人東青地区に就職して早1カ月あまり、学校生活とは違う環境に戸惑う毎日です。患者の事を思うとNrs.やDr.にいろいろとお願いしたいのですが、いざ他部門のスタッフの前に立つと自分が新人であるがゆえに消極性が顔を出してしまい、結果、患者に対して後手後手になってしまっているような感じします。また内科のDr.しかおらず、整形疾患に対しては皆が疑問を抱えながら、ある意味PTが中心となってやっているといた感じでした。

リハビリテーション業務は総合病院に比べ、あらゆる点でまだ劣っている病院ですが、事務長をはじめ、看護スタッフ、リハビリテーションスタッフ（私を含め3人）で話し合いの場を設け、これからは、東青地区で一歩のリハビリテーション病院を目指していくという目標をたてています。

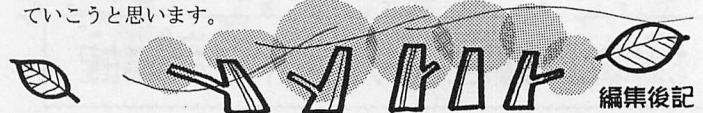
そういったことで、今私のいるこの村上病院は大きな転換期にきています。私は新人でまだまだ他部門と密に連携をとれるだけの技量もありませんが、患者を思う気持ちは皆同じだと思うので、それをかてにもっとぶつかりあっていけたらと思うと共に、そんな転換の時期に自分がどれだけの力を発揮できるか、ある意味挑戦の場と考え日々努力していきたいと思えます。諸先輩方には、これから学会や勉強会等でお世話になる事かと思えますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 新人理学療法士として

### 第17期生 細川亜弥

新人理学療法士として、また一人の社会人として働きはじめて、早一カ月半。職場は、若い人が多く、明るい雰囲気なのですぐ打ち解けることができましたが、患者さんから「先生」と呼ばれることには、まだまだ慣れず、自分のやっていることにもいまい自信が持てないまま、悪戦苦闘の日々を送っています。まず、当り前のことなのですが、実習生のときは違い、患者さんを担当したその日に評価し、治療に入らなければならないことに戸惑いました。一人の患者さんに掛けられる時間も限られてしまうため、新しい患者さんを担当するたび、平静を装いながらも手の平に汗をかいてしまいます。大学や臨床実習で学んできたことは、理学療法の基礎であり、全てではないことを改めて感じました。諸先生がおっしゃっていた「卒業してから本当のスタートだ」と言った意味が分かった気がします。自分で時間を作って勉強しようとしなければ、なにもせずに時間ばかり経ってしまうということをひしひしと感じています。

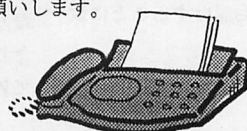
もう一つ、一カ月半のなかで自分がなかなかできなかったことがあります。他部門との情報交換です。看護婦や医者に対し、忙しそう、ちょっと怖そうと思っているうちに知りたい情報を逃してしまうこともあると分かっているのですが…。新人理学療法士の皆さんのなかにも同じように感じている人がいるのではないのでしょうか。患者さんが昨日よりもできることが少しでも増えていくのを見るのは嬉しいものです。患者さんのことを第一に考えると、訓練室のなかでだけ動くのではなく、情報交換を密にすることがこれからの課題です。なんだかんだいっても楽なほうに流されてしまうのが人間ですが、初心忘れることなく、適度な緊張感をもって頑張っていこうと思います。



### 編集後記

理事の顔ぶれが新しくなりました。旧理事の方々ご苦勞様でした。今号より、初めてニュース編集を手伝わせていただきましたが、大部分がまだ手取り足取りで、自分自身がまだ内容をよく把握出来ていない状態です。至らない点があるかと思いますが、今後も会員の皆様のお手許に充実した内容のニュースをお届けできるよう頑張りたいと思えます。ニュースを読んでの感想・アドバイス等お寄せ頂ければ幸いです。

（山田）



### HAPPY MARRIAGE

6月20日 12期生 藤田 由香会員  
（旧姓山口）

6月26日 5期生 大橋 哲雄会員



### 同窓生へのお願い

同窓会の郵便物がお手元に届かず、送り返されてくるものがあります。勤務先・自宅住所等に変更があった方は、ご面倒でも事務局（短大PT学科研究室）・FAX 0172（39）5981までご連絡下さいますよう宜しくお願いします。

# Apple Road no.51

発行：200年7月10日  
 責任者：対馬 栄輝  
 事務局：弘前大学医療技術短期大学部  
 理学療法学科研究室内  
 TEL・FAX 0172 (39) 5981

## 平成11年度定期総会議事録

平成12年3月27日、弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科研究室にて、平成11年度定期総会が開催されましたので、議案ならびに議事録について報告致します。

### 【第I号議案 平成11年度事業報告】

1. 会員数：321名  
平成11年度新入会員20名（17期生）への入会オリエンテーション
2. NEWS発行（Apple Road）：No.50, 対馬先生留学体験記（小冊子）
3. 慶弔電報：6件
4. 会費未納分の徴収：3名中2名より徴収
5. Tea Partyへの出席（平成11年3月）…山田氏出席

支出の部	H11決算額	H12予算案	備 考
事務費	29,415	16,000	タックシール, 印刷紙など
通信費	71,360	80,000	News, 会員名簿発行
広報部活動費	8,289	12,000	発送作業時弁当代
慶弔費	12,715	12,000	
予備費	0	10,000	
合 計	121,779	130,000	

### 【第II号議案 平成11年度決算報告ならびに会計監査報告】

収入の部	H11予算案	H11決算額	備 考
会 新入会員分	60,000	60,000	卒業生20名全員分
費 未収会費分	12,000	6,000	3,000×2名分
短大20周年立替分	3,500	0	
伊藤日出男先生 印税寄付	0	16,973	7/8 7,951円 11/8 9,022円
雑収入	0	677	通帳利息 677円
前年度繰越金	382,630	382,630	
合 計	458,130	466,280	

### 【第V号議案 医学部保健学科同窓会への対応について】

将来、保健学科の学生が卒業したときに、当同窓会としては、同じ校舎で学ぶ者として、同じ同窓会で運営していきたいと考えている。ただし、医療短大PT学科の卒業生と、医学部保健学科の卒業生が同一の同窓会の会員として共存するためには、現在の名称を変更するべきである。今年度中に公募し、決定していきたい。

### 【第VI号議案 会計監査委員の選出】

前年度の会計監査委員に引き続きおねがいがいることとなった。  
 医療短大 金沢 善 智氏  
 ときわ会病院 佐藤 比呂子氏

支出の部	H11予算案	H11決算額	備 考
事務費	12,000	29,415	タックシール, 印刷紙, A4封筒
通信費	90,000	71,360	広報発送費
広報部活動費	12,000	8,289	広報発送作業時弁当代
慶弔費	12,000	12,715	祝電6件
予備費	20,000	0	
合 計	146,000	121,779	
収 支 合 計		344,501	次年度へ繰越

### 《事務連絡》

#### 同封したはがきの記載について

1. 紙上総会：医学部保健学科設置記念式典・祝賀会にかかる医療技術短期大学部同窓会寄付金について  
→別紙参照の上、必要事項を記入して下さい。
2. 理学療法学科同窓会の名称の募集について  
議事録の第V号議案でも触れましたが、同窓会継続を目的に現在の「理学療法学科同窓会」の名称を改める必要があると考えられます。短大各学科においても名称が「…学科同窓会」としているのは、理学療法学科のみであることから、今回委員の皆様からのよきアイデアを広く募集します。はがきの同窓会名称案の欄に、これはという名称を記入して下さい（参考 Ns. ; 弘和会, R; 弘放会, T; 桜臨会, OT; 桜城会）。
3. 勤務先・自宅住所等の変更届けについて  
今秋、同窓会名簿を作成し、皆様のお手元に送付する予定です。同窓会の郵便物が会員に届かず、送り返されてくるものが増えています。名簿の切り抜きを同封しましたので確認の上、勤務先、自宅住所等に変更がある方は、はがきの「勤務先・自宅住所等の変更」の欄に新しい勤務先・自宅住所等を記入して下さい。

以上ご記入の上、7月21日（消印有効）までに投函して下さい。

### 【第III号議案 平成12年度事業計画案】

1. NEWS発行：No. 51, 52
2. 同窓会会員名簿発行（第9版）
3. 新入会費徴収及び会費未納分の徴収（1名）
4. 20周年事業立替未納分の徴収（1名）…3月19日徴収済み
5. Tea Partyへの出席、入会のオリエンテーション（18期生）  
医療短大教官以外の学外の同窓生に、毎年、お祝いの言葉と入会オリエンテーションをお願いしてきたが、昨今、勤務時間内での外出が認められない病院が増えてきており、わざわざ有休を使って出席してもらっている現状である。卒業式の2週間前に、公文書で派遣依頼を病院宛に発送し、便宜をはかってもらうよう、配慮していきたい。
6. 慶弔電報の発信
7. 全国学会時の同窓会懇親会（鹿児島）…見送り  
鹿児島学会時の懇親会を計画していたが、今回は地理的に遠方であることもあり、見送ることとした。今後の予定として、今年度10月医学部保健学科開設の式典があり、平成15年3月に卒業する21期生が、医療短大同窓生としての最後の期となり、平成16年3月医療短大開校の予定となっている。同窓会20周年を迎える平成14年頃に医療短大同窓会最後の全体懇親会を企画する方向で承認を得た。

### 【第IV号議案 平成12年度予算案】

収入の部	H11決算額	H12予算案	備 考
会 新入会員分	60,000	60,000	卒業生20名分
費 未収会費分	6,000	6,000	1名分
医短20周年立替分	0	3,500	1名分
伊藤日出男先生 印税寄付	16,973	0	
雑収入	677	0	
前年度繰越金	382,630	344,501	
合 計	466,280	414,001	

### 編集後記

今回のニュースは恒例の議事録、新人理学療法士、また先輩理学療法士のメッセージを掲載しました。議事録では医療短大から医学部保健学科への開設となるため、同窓会自体に関する記事が興味深いものと感じます。私自身、同窓会に入会して5年目（14期生）であり、それ以前の同窓会のあり方についてしっかりと把握できていない…というのが正直なところですが…。今回の医学部保健学科への移行が、これからの理学療法学科同窓会の方向性・在り方を改めて問う良き機会であり、会員にとってより有益である同窓会となっていければ…と考えます。（山田）

築館 真由美 (18期生)

私は弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科の18期卒業生です。この春卒業し、国家試験も無事合格しました。社会人として一年目が始まりました。現在は青森市にある、(社) 慈恵会青森慈恵会病院リハビリテーション科に勤務しています。青森慈恵会病院のPTは今年の春4人増え、スタッフが充実しています。3年間一緒に過ごした18期生の人々と離れ、淋しく感じることもありましたが、沢山のスタッフに恵まれ楽しく働いています。最近では職業として理学療法を行っていくことに難しさを感じたり、改めて勉強を続けて行くことの大切さを感じています。肉体的な疲労を感じたり、悩むことや大変なこともあります。一人前のPTになるために頑張っていますので、宜しくお願いします。

西岡 恵 (18期生)

私がこの原稿を書いているのは、切日当日の朝です。就職して新しい環境に慣れることや、「ここが痛い。こうすると痛い。こんな時痛い。」「それ、前から少し体重かけてたから大丈夫。大丈夫(負荷をかけるなど言ったのに…)。」などとのたまたま患者さんに振り回され、はたまた、新人歓迎会では芸人としての隠れワザを発揮するため、時間を借して皆で練習したりと、「PTって本当に体力勝負なのね」と実感しているうちに、とうとうこの日を迎えてしまいました。ああ…これでは学生時代と何も変わらない。やっぱり理想と現実が違うのねと思いつつも、できるだけ自分の時間を作ってストレスを発散するように心掛けています。鷹揚郷病院では透析を受けている患者さんがほとんどであり、訓練も進み方がゆっくりであるというのが今の印象です。不安な気持ちをストレートにぶつけてくる方や、強気なことばかり言ってる方、明るくて強そうに見える方などなど、その姿は様々ですが、心の底では皆共通した気持ちを持っているのではないかと思います。理想と現実の違いも、そんな方々のリハビリテーションができたなら、少しでも理想に近づけたらいいなと思いつつも、日々悪戦苦闘している今日この頃です。

野宮 僚子 (18期生)

理学療法学科同窓会の皆様、初めまして。今年の春、医短を卒業し、新しく同窓会の仲間入りさせて頂きました、野宮僚子と申します。現在私は神戸大学保健学科において理学療法を専攻し、またしても学生をやっています。神戸という、青森から遙か離れた知り合いもいないような所へ来てしまったわけですが、神戸大学の編入生や大学院生の中に弘前大学医短の卒業生がいることを知り、弘前大学の同窓生は全国各地にいるのだなと実感しその一員になれたことを誇らしく思っています。

さて、現在私は保健学科の三回生として講義を受けているわけですが、当初、たくさんの方から教養の単位が医短では少ないため、編入してもしばらくは教養科目を取るようになるのではと言われていたのですが、なんと神戸大学においては、教養科目を取る事が出来ない状態で、「単位の置き換え」という少々ややこしい手続きが必要でした。このため円形脱毛症が出来そうなくらい悩みながらも、ようやく自分がどの講義をいつ(今年か来年か)受けるのか決定し、事務手続きを終えることが出来ました。

また、合格発表を終え何とか理学療法士の免許を取得することが出来たので、臨床経験も積みたいと思い、非常勤で働くことのある病院などを探し、走り回りながら毎日を送っています。弘前大学医短にいたころから毎日走り回るような生活を送っていた私ではありますが、やはり神戸にきてからは変わらぬ様です。

神戸大学で過ごす2年間は、机に向かう勉強とともに、理学療法士として基礎を固めるうえでも大変重要な期間になると思うので、何事に対しても積極的に取り組み、様々な面に目を向け知識を吸収し、少しでも多くの経験を積めるように頑張りたいと思っています。

このように、いまだ落ち着かず走り回っている私ではありますが、学生として、新人理学療法士として今後たくさんの方の面壁にぶつかることがあると思います。ですので、これからたくさんの方の面壁先や、同窓生の皆様のお世話になることがあると思いますが、今後どうぞよろしくお願い致します。

先輩PTから「新人へのメッセージ」

齋藤 圭介 (8期生)

皆さん、お元気でしょうか。最初に近況報告をさせていただきます。私事で恐縮ですが、本年4月より青森県立保健大学健康科学部理学療法学科に助手として勤務することとなりました。理学療法士となって早10年が経過しましたが、「教育機関」は初めての職域のため、右も左もわからぬ新入社員のような心境で毎日を送っています。同時に今後、教官として学生を育てていくことの責任の重さを感じています。私はこれまで2年間、岡山県立大学大学院保健福祉学研究所保健福祉学専攻で、香川幸次郎先生の御指導の下、学生生活を送ってきました。香川先生から直接御指導いただいた8期生までの皆さんはご存じと思いますが、先生は人間的にも魅力のある方で、研究の事のみならず多くのことを学ばせていただきました。大学院への進学は、妻や子供との関係、金銭面などリスクを伴うものでしたが、何物にもかえられない貴重な経験をさせていただいたと考えております。

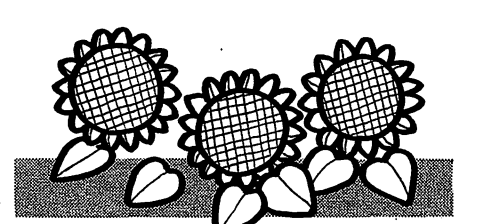
さて、本題である「新人へのメッセージ」に話を移します。私が最近思うのは、理学療法は天井の無い世界だということです。理学療法士として始めて社会に出られた皆さんは、現在の私のように右も左もわからず、浮き足立った状況にあらうかと思つています。しかし、心配しなくても1、2年経過し、職場の機構や人間関係を把握し、職場の先輩方から知識や技術を吸収するにつれ、安定した居心地の良い空間が出来ます。後輩や臨床実習生がやってくれば、自信をもって指導するようになるでしょう。ただし、こうした状況は、単に自分がいる職場で通用する能力を身につけただけであって、より水準の高いステージに立った時には全く通用しないかもしれません。また研究に関して、多少でも学会発表や論文を発表すると、「発表した」という事実に対して周りから評価を受けますが、それに気をよくするのは大きな間違いです。研究内容に関しては、批判対象となる一定の水準に達しなければ批判されませんし、仮に理学療法士の学会で通用したとしても、より専門的な学会にエントリーすれば、こてんぱんにされるかもしれません。一方、進学に向けて準備されている方も多いかと思つています。しかし学士や修士は、能力がそれに値する一定の水準に達したことが評価され与えられるに過ぎず、かつその後の研鑽がなければ、単に称号を持っているという事実しか残らないものと思つています。理学療法士が臨床実践において取り組まなければならない課題、ならびに研究課題は、経験や知識の乏しい私が気付いているものだけでも山積しています。こうした状況の下、まずは直面する課題に取り組み、それが安定したなら、次に取り組まなければならない課題が何であるかを常に考えながら進まれていくことを、自分に言い聞かせつつ、新人の皆さんのメッセージとさせていただきます。

佐藤 秀雄 (14期生)

新しくPTになられたみなさん、おめでとうございます。今回みなさんへのアドバイスということで、依頼をいただきましたが、私も5年目にしてまだまだ自他ともに認める未熟なPTであり、あまり有難い話ではありませんが、最近感じていることを少しお伝えしたいと思います。

1. 自分に何が求められて、自分に何が出来るか  
目の前の患者さんに必要なことは何なのか、そして自分にできることは何なのか、そこから全てがスタートするのだと思つています。私自身先輩に言われたことですが、「自分の都合で、ペースでは仕事はできない」ということ、これはあらゆる職種全てに通じることです。われわれはどうしても自分の都合で、診療に限界の線を引きがちです。結果があいまい、あるいは生死に直面しにくい(例外もありますが)、といったリハビリ医療の特色も関係しているかと思つています。人間的な生活の再構築という、本来のリハビリテーションの目的から考えたとき、患者さんに対しPTとして自分ができることは何なのか、できない部分はどのように補ったらいいのか、これを考えながら仕事することには、経験や技術や知識の優劣は関係ありません。これは今の私の最大の課題でもと考えています。
2. 最初の2年を特に大事に

これは実は私の学生時代、担任だった先生の言葉でもあります。最初は誰もが診療に思うような結果が出せなくて当然ですが、そこで思い切り悔しがり、どうにかしようともがきまくることが、一番重要なことではないかと感じます。また最初1~2年に身についたPTとしての仕事のやり方や患者さんへの接し方は、後々しつこく身体に染み付き、変えようと思つてもそう簡単には変わりません。担任の先生には申し訳ありませんが、この点でも私には反省があります。やはり最初は基本的な勉強をしっかりすべきであり、もしそのために遊ぶ時間がないなら、それは仕方ないこととあきらめるべきだと、これは実感をもつていえます。結果として偉そうな話になってしまいましたが、これは自分への課題でもあります。少しでも皆さんの心に引っかかってもらえれば幸いです。



# Apple Road no 53

発行：2001年6月30日  
 責任者：対馬 栄輝  
 事務局：弘前大学医学部保健学科  
 理学療法学専攻研究室内  
 TEL・FAX 0172 (39) 5981

## 平成12年度定期総会議事録

平成13年3月26日、弘大医学部保健学科理学療法学専攻研究室において、平成12年度の定期総会が開催されました。秋田県は比内町からの同窓生も出席し、21時過ぎまで長時間にわたる討議となりました。以下に討議、決議された内容について、報告致します。

### 【第Ⅰ号議案 平成12年度事業報告】

1. 新入会員は、18期生20名、会員数341名である。
2. News発行 (Apple Road) : No. 51~52
3. 同窓会会員名簿発行 (第9版)
4. 慶弔電報：2件
5. 会費未納分について残るところあと1名で、督促もし、支払う意思表示もあったが、年度内には支払ってもらえなかった。(平成13年4月振込み確認)
6. 平成12年3月、Tea Partyへ、佐藤比呂子氏が出席し、オリエンテーションを行った。
7. 医学部保健学科開設記念式典への寄付  
 医学部保健学科開設記念式典に対して、寄付金の依頼があった。臨時紙上総会の結果、会員の同意が得られたため、同窓会会計より、6万円 (郵便振込み手数料として420円計上) の寄付を行った。

### 【第Ⅱ号議案 平成12年度決算報告ならびに会計監査報告】

収入の部	12決算案	12決算額	備考	
会費	新入会員分 未収会費分	60,000 6,000	60,000 0	卒業生20名全員分 1名分
短大20周年立替分	3,500	3,500	1名分	
伊藤先生印税寄付	0	9,022	7/7 9,022円	
雑収入	0	275	通帳利息275円	
前年度繰越金	344,501	344,501		
計	414,001	417,298		

支出の部	12予算案	12決算額	備考
事務費	16,000	20,343	コピー用紙、名簿表紙 封筒代
通信費	80,000	109,890	広報、会員名簿送費
広報部活動費	12,000	11,087	名簿、広報送付時弁当代
慶弔費	12,000	6,131	祝電1件、弔電1件
予備費	10,000	60,420	保健学科記念式典寄付金 振込み
計	130,000	207,871	
収支合計		209,427	→次年度へ繰越

平成13年3月17日、会計監査の結果相違なく、第1、2号議案とも承認された。

### 【第Ⅲ号議案 平成13年度事業計画案】

1. 新入会員会費徴収 (19期生18名入会、会員数359名)  
 および会費未収分の徴収 (1名分徴収済み)
2. News発行 (Apple Road) : No. 53~54
3. Tea Partyへの出席、入会のオリエンテーション
4. 慶弔電報の発信



在りし日の菅原先生

### 【第Ⅳ号議案 平成13年度予算案】

収入の部	12決算額	13予算案	備考	
会費	新入会員分 未収会費分	60,000 0	54,000 6,000	卒業生18名分 1名分
伊藤先生印税寄付	9,022	0		
雑収入	275	0		
前年度繰越金	344,501	209,427		
計	417,298	269,427		

支出の部	12決算額	13予算案	備考
事務費	20,343	30,000	封筒印刷代、紙代等
通信費	109,890	80,000	広報送付代
広報部活動費	11,087	12,000	送付作業時弁当代
慶弔費	6,131	12,000	
予備費	60,420	0	
計	207,871	134,000	
収支合計		135,427	→次年度繰越金

第3、4号議案とも、承認された。

### 【第Ⅴ号議案 医学部保健学科への対応】

1. 医学部保健学科同窓会との同一運営の確認  
 臨時紙上総会の際、同一運営に反対する会員が、1名みられた。今回、議案書を、定期総会前に会員全員に送付し、意見を求めたが、この議案に対する意見は皆無であったため、同一運営の方向で、承認された。ただし、医学部保健学科同窓会から、同一運営を拒否された場合においては、医療短大PT学科同窓会として存続させるか、あるいは発展的解消 (ホームページ上に残すなど) とするか、その時に改めて検討する。
2. 同窓会名称の変更ならびに会則の変更について  
 ①同窓会名称変更

かねてからの懸案であった、医短PT学科同窓会の名称について、臨時紙上総会の際に応募された名称案の中から多数決で選出した結果、「野びるの会」に決定した。

※「野びる」の由来；1980年4月弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科創設当時から、1988年に退官されるまで、学科の発展にご尽力された、菅原正信先生 (学科主任、リハ医学教授、1992年12月没) が、ご自分の生い立ちと生き様をまとめられた著書「野びるの花」、及び、学科開設から発展させるまでのご苦勞、思い出をまとめられた「続野びるの花」を出版された。その本の名前にちなんで、短大から4年制大学に発展しても、菅原先生から教えられた、臨床家としての「心」を忘れることのないように、との願いがこめられている。菅原先生と面識のない、若い総会出席者の大半からも支持を得て、選ばれた。

## ②会則の変更について

同窓会の名称変更が承認されたため、会則を以下のように改める。

### 第1章 総則

(追加) 第2条 本会の名称を「野びるの会」とする。

※議案書中の、会の構成員に、弘前大学医学部保健学科理学療法専攻卒業生を加える改正案については、保健学科の卒業生が出た時点で再確認し、改正することになった。

## 3. 既卒者からの臨時会費徴収の検討および終身会費の値上げ

会員数の増加に伴い、現行のままの運営費で計算すると、平成15年度の活動をもって、運営費が底をつく状況である。平成16年には、医学部保健学科在校生が4年生となるため、卒業生がおらず、収入がないため、平成16年度の活動は存続できない状況である。よって、以下の方法で、運営費の建て直しをはかることになった。

### ①来年度から、終身会費現行3,000円を、5,000円へ値上げする。

i) 1,000円の値上げを考えていたが、弘前大学(本学)同窓会の発足により、各学部同窓会から、当該年度における入会予定者数に1,000円を乗じた額の8割に相当する額を、本学同窓会へ納入するよう、会則で定められたため、当同窓会会計からも、本学同窓会へ支払わなければならない。その分も、新入会員に上乘せすることとし、5,000円とした(平成15年まで卒業生20名として、16,000円相当。平成17年からは卒業生25名として、20,000円相当)。

### ii) 会則の変更について

終身会費の変更が承認されたため、会則を以下のように改める。

#### 第2章 会員

(現行) 第6条 正会員は、卒業時に入会届を提出し、終身会費として3,000円を納入しなければならない。

(改正) 終身会費として5,000円を納入しなければならない。

## ②既卒者に対する寄付金の依頼

臨時会費とはせず、寄付金を募ることで承認された。別紙に、金額の目安になるよう試算結果を掲載したので、これを参考に、寄付を募りたい。広報発送時に、郵便振替用紙を全会員に郵送するので、今年度内をお願いしたい。

## 事務局からの連絡

### ①今回のNEWSに同封しているもの

・同窓会NEWS・運営試算予想・同窓会会則(新旧)・郵便振替用紙  
・弘前大学同窓会報第2号(事務局の手違いにより、昨年発行の第1号を紛失してしまいました。お詫び致します。)

上記のものを同封しています。同窓会会則を、入会時にお渡ししていない会員のかたにお詫びするとともに、今回の総会で改正された会則を同封致しましたので、お手元に保管して下さい。

### ②寄付のお願い!!

同窓生全員に、寄付金をお願いすることになりました。別紙「同窓会運営試算予想(概算)」を参考にして各々金額を判断して頂き、できれば、1,000円1口とし、1口以上何口でも構いませんので、同封の郵便振込用紙にて送付して頂きたい、よろしくお願い致します。尚、振り込み手数料(1万円まで70円、1万円以上120円、機械で振り込む場合は、10円お安くなります)は、各自の負担となりますが、同窓会存続の将来がかかっていますので、趣旨をご理解頂き、ご協力下さいますよう、重ねてお願い致します。

### ③勤務先・住所変更を届けておられますか?

勤務先・自宅住所等に変更があった方は、ご面倒でも  
(長谷川 pthase@cc.hirosaki-u.ac.jp  
あるいは、FAX 0172 (39) 5981) まで、  
「同窓会変更届け」の旨、明記した上で  
ご連絡下さいますよう、お願い致します。

HAPPY MARRIAGE

6月9日

14期生 山田克彦会員

## ③活動内容の見直し

同窓会の現在の活動内容は、広報の発行(事務連絡が中心となっている)、2年に1回の会員名簿の発行程度で、必要最小限となりつつあるが、広報活動においても、同窓生に記事依頼をしても嫌がる、あるいは反応がない会員が多く、紙面作成に難航している。今回の議案書に対して、意見を寄せてくれた会員もたった1人であった。総会を平日の夜に開催すること自体を批判する内容であったが、休日、休前日に設定しても、あまりに参加者が少なく、総会が成り立たない状況が続く、総会出席者の数を問わない会則に切り替えた過去がある。今回も、夜の総会に、秋田県から駆けつける会員がいる一方で、市内におられる会員の参加は皆無であり、毎年10人に満たない人数で総会を開催している。集客力のない運営をしてきた役員も責任も重大であるが、はたして、どこまで、同窓会の意義が卒業生のなかにあるのか、必要とされているのか、考えさせられるところである。

今回、理事以下の役員を、増員し、一新することとなった。新風を期待する一方で、当面は、事務局連絡、来年度の名簿発行、同窓会20周年事業の計画などを視野に入れて、いずれは、郵送からメール発送へ、会員名簿の有料化など、運営費を節約する方策を検討していきたい。

## 【第VI号議案 新役員選出】

総会において、役員を増やしてはどうかとの動議がだされ、承認された。

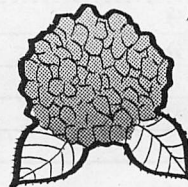
### i) 会則の変更について

#### 第4章 役員

(現行) 第8条 本会に次の役員をおき、役員会を構成する。  
会長1名、副会長1名、理事3名

(改正) . . . . . 理事6名

ii) 新役員 会長 対馬栄輝氏(弘大医学部保健学科)  
副会長 長谷川至氏(弘大医学部保健学科)  
事務局 須藤真史氏(黎明郷)  
長内央臣氏(鳴海)・山内茂寛氏(健生)  
会計 黒石容子氏(健生)  
広報 山田克彦氏(国立)  
経堂恵美氏(老健希望ヶ丘)



## 編集後記

今回は、6月に広報部長山田氏が、めでたく、ご結婚されたため、急遽、古株の河原が、ピンチヒッターで、広報を製作させて頂きました。総会議事録のみで、味気ないNEWSとなり、申し訳ありません。今回の総会で、私も、14年もやらせて頂いた同窓会の活動から、足を洗わせて頂くことになりました。古臭くなった人間が、いつまでも、過去を引きずって活動に携わるといのは、若い人の足を引っ張ることにもなりかねないということを感じておりました。母校も、4年制大学となり、青森県内にも、ふたつの4年制大学がたちあがりました。これからは、同じPTという資格を持っていても、私のように、やっこさ医短に入ったような人間は、足元にも及ばないような次元の世界になりつつあることを、雰囲気からして、感じております。

医短の同窓生が各々教官として、学校教育に携わるとき、何よりも、母校弘大医療短大での教養を礎として、さらなる実践を積み重ねて頂きたいと願っております。

また、理学療法士として働く現場は、人生の大学。体が続く限り、私も細々とでも学んでいければと思っております。

母校と同窓生の益々の発展を願って!

長い間、同窓会の仕事に携わらせて下さった同窓生のお一人一人に感謝して!! ありがとうございます。 (文責河原)



# アップルロード

№. 54

発行：2002年3月15日  
責任者：対馬 栄輝  
事務局：黎明郷リハビリテーション病院  
理学療法室  
TEL：0172-45-2311（内線 68）  
FAX：0172-45-2373

## 定期総会のお知らせ

拝啓 会員の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平成 13 年度定期総会を下記の日程により、開催致します。お忙しいこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますよう、ご案内申し上げます。 敬具

### 記

総会開催日時：平成 14 年 3 月 30 日（土） 15：00～  
場所：弘前大学医学部保健学科理学療法専攻研究室  
ご意見送付先：黎明郷リハビリテーション病院 理学療法室（事務局）  
FAX：0172-45-2373  
E-mail：reimeipt@h7.dion.ne.jp  
送付期限：平成 14 年 3 月 27 日（水）必着

## 平成13年度定期総会議案書 野びるの会

### 【第Ⅰ号議案 平成13年度事業報告】

- 1.新入会員は 19 期生 18 名、会員数 359 名である。会費未収分の徴収（4 月に振り込み確認）。
- 2.News の発行（Apple Road）：No.53～ 54
- 3.慶弔電報：1 件
- 4.平成 13 年 3 月、Tea Party へ佐藤比呂子氏が出席し、オリエンテーションを行った。

### 【第Ⅱ号議案 平成13年度決算報告 ならびに会計監査報告】 （当日審議）

- 【第Ⅲ号議案 平成14年度事業計画案】
- 1.新入会員会費徴収（20 期生 19 名入会、会員数 378 名）
- 2.News の発行：No.55～ 56
- 3.Tea Party 出席，入会オリエンテーション。
- 4.短大 20 周年，同窓会 20 周年，三浦教授退官，短大閉校に合わせ事業を計画。
- 5.会員名簿発行。

### 【第Ⅳ号議案 平成14年度予算案】 （当日審議）

### 【第Ⅴ号議案 会計監査の選出】 （当日審議）

### 【第Ⅵ号議案 会員名簿の有料化について】

これまで 2 年に 1 度名簿を発行してきたが、名簿の流出による諸問題が生じてきている。また、発行に伴う郵送等の費用により予算を圧迫しているのが現状である。そこで、会員

名簿を希望者のみ有料にて配布したいと考えている。来年度が会員名簿発行の予定年度であり、できれば来年度より実施したい。

### 《懇親会開催（予定）について》

定期総会終了後、懇親会の開催を予定しています（場所等は未定）。多数有志の参加をお願い致します。

### //////////【事務局通信】//////////

#### ①寄付のお願い

今年度、同窓会全員に寄付金をお願いしましたが、2 月末現在で約 50 件の寄付を頂き、誠にありがとうございます。寄せられた寄付金については、2 月末分までを来年度の予算に計上します。

引き続き、寄付金を受け付けておりますので、ご協力お願いします。尚、振り込み手数料は自己負担となりますのでご了承下さい。また、昨年郵送された郵便振り込み用紙をなくされた方は、下記へ振り込み下さい。重ねてご協力お願いします。

郵便振り込み 口座番号 02200-1-57695 野びるの会

#### ②勤務先・住所変更を届けておられますか？

勤務先・住所等に変更があった方は、ご面倒でも同窓会事務局（黎明郷リハビリテーション病院 理学療法室 E-mail：reimeipt@h7.dion.ne.jp あるいは、FAX 0172-45-2373、TEL 0172-45-2231 内線 68）まで、「同窓会変更届」の旨、明記した上でご連絡下さいますようお願い致します。

平成12年10月、積年の要望が実り、我が弘前大学医療技術短期大学部が医学部保健学科へと改組された。短大理学療法学科として構想を起こしてから実に15年余の歳月が流れたことになる。その間、神戸大・金沢大・群馬大・名古屋大・鹿児島大と5つの大学に先を越されはしたが、全国最大規模の保健学科への昇格がようやく実現したわけである。開設後の半年で、新入生を迎える準備を着々と進めたつもりではあったが、入学試験や時間割編成やらと、短大時代とは勝手が違うことが多く、何とも慌ただしいスタートであったような気がする。新入生を迎えるにあたり、短大在校生（短大最後の21期生）としても、組織が変わったとはいえ、同じ校舎で同じ専門科目を学ぶ仲間だという意識からか、ごく自然にこれまでどおりの新入生歓迎行事を進めてくれたことを報告しておきたい。

入学してきた保健学科1期生は総勢22名であった。いわゆる受験偏差値では短大時代よりも高い学生が集まったようだが、理学療法士への想いという点では、目の輝きや課題への取り組みからみて、短大の学生の方が生き生きしていたような気がする。果たして、この学生たちが今後どのように成長していくのか、大いに気になるところである。新入生の学生生活は予想していた以上にハードなものであった。初期構想では余裕のあるカリキュラムであったはずが、文部省のヒアリングが進むにつれて、カリキュラムが膨れあがってしまった。その上、いわゆる「旧教養科目」である「共通教育科目」受講のため、週の半分は文京町キャンパス、残りは本町キャンパスでという変則時間割編成を余儀なくされる結果となった。この「共通教育」も4月からは「21世紀教育」と名称が変わり、新しいシステムで行われることとなっているが、新参者の保健学科としては、よく先の見えない状況でとにかく手探りで進んでいるといった状況である。喩えていえば、佳境に入った宴会に遅れて出席した新入社員といったところか…。いずれにしろ、なんとか早く体制を固めて、四年制を目指した基本構想を見失わないようにしなくてはと考えている。

保健学科への昇格に伴う施設設備の更新に

ついては、財政難ということもあって半ばあきらめかけていたところ、先般、補正予算が認められという朗報が届いた。建物に関していえば、短大の第一期生が入学し、我々の拠点である校舎ができてから早22年であるから、このニュースはうれしいかぎりであった。とりあえず、大学病院との間の駐車場のスペースに学生・教官増に伴う増築分の建物が建つ予定で、その後、現在の建物のリニューアルが行われるとの見通しである。

教官人事については、4月から増員なったPT教授のポストに秋田大学医療技術短期大学部の若山先生を迎える準備が整っている。助手のポストについては15・16年度採用となっているため、あと1年は対馬（栄）さんと長谷川さんに踏ん張ってもらわなければならない。

弘前大学の後に長崎大（平成13年度）、秋田大、信州大（平成14年度）と保健学科への改組が決定したが、弘前大学以後は財政難のあおりで現状の学生・教官定員のままでの昇格と規模が縮小されたと聞いている。

このように、国立大学医学部保健学科をとりまく環境は、決して楽観できない状況である。平成16年度には国立大学の独立法人化が決定されており、もはや目前に迫っている。そして、全国トップ30大学への優先的予算配分という「遠山プラン」への対応など、正に、正念場を迎えている。

現在、理学療法学専攻が最優先の課題として取り組んでいるのが、大学院開設構想である。先発大学にはない独自の理念と目標を掲げ、実践的理学療法学の拠点としての学府づくりを目指しているところである。そのためには、まず、我々が名実ともに大学院教官としてふさわしいレベルの人材であらねばなるまい。岩木山がその秀麗さが讃えられるのは、津軽平野にあればこそである。富士山の隣にある山だとしたら、いかがなものだろうか？弘前でこぢんまりと大学教官のポストに甘んじているのではなく、大いに外に向かって自らの力をアピールし、もまれることによって力をつけて行きたいものだと、常々自戒している次第である。